

# 夏休みにおすすめの本

2024年7月

岸和田市立中学校 学校司書 発行

学校司書がおすすめする本です。  
ぜひ、夏休みに読んでみてください。



## 『リカバリー・カバヒコ』

青山 美智子著  
光文社 2023年

公園のすみっこにひっそりたたずむ、ところどころ塗装のはげたアニマルライド「カバヒコ」の、自分の痛いところ、つらいところと同じ場所をなでるとリカバリーしてくれるというまことしやかな都市伝説？によりどこを見つけて、そおとなでいくと、なんだか本当にすこしずつ元気になって、自分のことを大事にしてあげられるようになる。そんな短編集です。



## 『村上海賊の娘』

上・下巻

和田 竜著  
新潮社 2013年

10年以上前に読んだ本ですが、歴史があまり得意でない私にもとても読みやすく、男尊女卑が根強く世の中にはびこっていた時代に、しなやかにたくましく、能動的に生きた女性のお話です。そして、終盤に登場する難波の海賊たち。荒くれものだけど、どこか憎めないのは聞きなれた泉州弁だからでしょうか？  
その彼女が見届けた大きな歴史の一場面を、一緒に見届けてみませんか。



## 『舟を編む』

三浦 しをん著  
光文社 2011年

出版社の営業部に勤める馬締光也は、言葉へのセンスを見込まれ、辞書編集部へと引き抜かれる。そこでは辞書の編纂という大仕事が待ち構えていた……。辞書編集部のメンバーは、皆個性的なメンバーばかりで、その辺も読んでいて楽しいのでおすすめです。



## 『大地の子』

山崎 豊子著  
文藝春秋 1991年

太平洋戦争末期の混乱の中、家族を失い中国残留孤児となってしまった陸一心（松本勝男）を主人公とした物語です。日本人であるがゆえに過酷な運命に翻弄され、それでも決して希望を捨てる事なく懸命に生きる姿に胸が締め付けられます。



## 『さよなら、田中さん』

鈴木 るりか著  
小学館 2017年

貧しくても明るく生き抜く母と娘の物語。出版当時著者が中学生だったことでも話題になりました。「もし、死にたいくらい悲しいことがあったら、とりあえずメシを食え。」心に残るシーンです。とても読みやすく、おススメです。



## 『夏休みの空欄探し』

似鳥 鶏著  
ポプラ社 2022年

高校のクラスでは、真逆の立ち位置のライとキヨ。ひよんなことから美人姉妹と一緒に謎解きに挑むことになります。暗号やパズル 謎解きが好きなら、ぜひ一度読んでみてください。



### 『あのとき売った本、 売れた本』

小出 和代著  
光文社 2023年

25年間、紀伊国屋書店新宿本店で勤めた著者が当時の思い出とベストセラー本を紹介していくエッセイ。読んだ本の裏話が知れたり、読んでいない本は手に取りたくなったりします。一編ごとに挟まれる漫画家並みのイラストもクスリと笑えるおまけつき。



### 『永遠の0』

百田 尚樹著  
太田出版 2006年

舞台は太平洋戦争。臆病者と笑われようと“生きて帰りたい”を貫いたゼロ戦搭乗員の想いは・・・。  
読後、言葉にできない感情の揺れに包まれ、しばらく放心しました。  
ぜひ、体感してみてください



### 『成瀬は天下を 取りに行く』

宮島 未奈著  
新潮社 2023年

成瀬あかりはいつもマイペース。真っ直ぐな性格から他の人から見ると「変な事」を考え実行します。そんなあかりの、成長と友情を描いた物語です。短編でつづられていくのでとても読みやすいです。2024年本屋大賞の大賞です。



### 『少年と犬』

馳 星周著  
文藝春秋 2020年

人だと本心を言えなくても、動物には本当の自分をさらけ出せるってことがありますか？西へと旅する雑種犬「多門」が旅の途中でいろんな人たちと出会い別れる物語です。多門の旅の目的とは？作者の犬愛があふれる感動作です。



### 『地学・資源・エネルギーのすごい話 難しいことはわかりませんが、日本の未来が 明るくなるニュースを教えてください』

ひつじさん著  
KADOKAWA 2023年

著者のひつじさんは、平成生まれの You Tuber です。物心ついてから見る日本のニュースは、「不景気」「衰退」等 暗い話題ばかり。本当のところはどうなの？実際に調べてみたら、日本にも明るいニュースがたくさんあって・・・。You Tube 動画で配信された内容に、写真や新たな情報が加筆されています。



### 『ミライの武器』

「夢中に なれる」を見つける授業」

吉藤オリイ 著  
サンクチュアリ出版 2021年

小学校から中学校まで、3年半の不登校を経てロボット開発者になった吉藤オリイさん。目まぐるしく価値観が変わる時代を生きる皆さんに「夢中になれる事」の大切さを優しく語りかけてくれます。ロボット開発に携わった人達とのエピソードには、思わず涙が零れました。



夏休み 元気に過ごしてね！